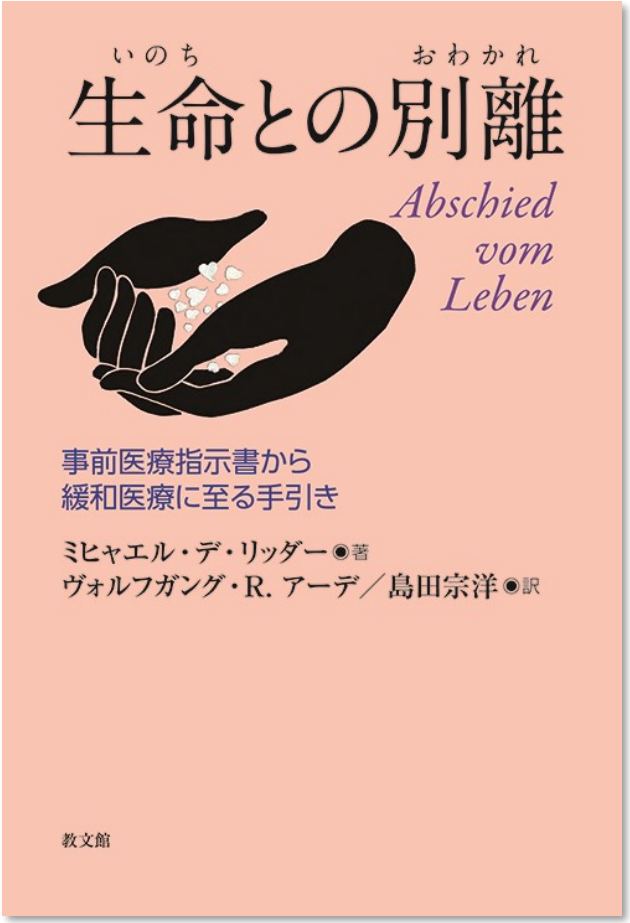


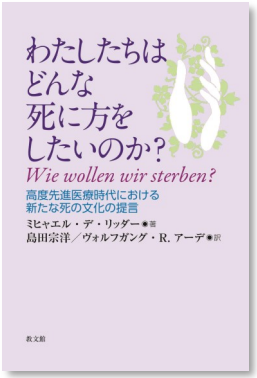
生命（いのち）との別離（おわかれ）

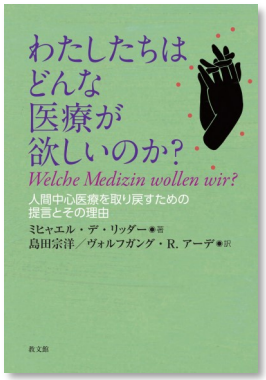
事前医療指示書から緩和医療に至る手引き

ミヒャエル・デ・リッダー著　ヴォルフガング・R. アーデ／島田宗洋訳

四六判・上製・270頁　定価2,420円（本体2,200円＋税）
ISBN 978-4-7642-6749-7 C0047

救急医療とホスピスの現場で活躍する医師が、
終末期に人体に起こる変化と、病院で施される処置を詳しく紹介。
一人ひとりの希望に沿った最期を迎えるための法的な準備を手引きする。





『わたしたちはどんな死に方をしたいのか？
——高度先進医療時代における新たな死の文化の提言』
『わたしたちはどんな医療がほしいのか？
——人間中心医療を取り戻すための提言とその理由』
（ともに教文館、2016年／2019年）の著訳者が贈る、
現代医療への提言シリーズ第3弾！

◆著者◆　ミヒャエル・デ・リッダー（Michael de Ridder）　救急医療専門医。ベルリンの病院で救命救急部門主任医師として勤務。ホスピスを共同設立、緩和医療財団理事長を兼務。
◆訳者◆　ヴォルフガング・R. アーデ（Wolfgang Roland Ade ）1947年生まれ。獨協医科大学医学部特任教授、公益財団法人日本国際医学協会評議員。
◆訳者◆島田宗洋（しまだむねひろ）　1939年生まれ。救世軍清瀬病院名誉院長、獨協医科大学特任教授、公益財団法人日本国際医学協会評議員。

「終末期医療を考える上で
大いに参考になる一書」
横倉義武氏推薦！
（前日本医師会会長、前世界医師会会長）

好評既刊　発売中！